



マチイロ



カタログポケット

日本遺産

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

北前船が栄えた時代、直江津は「今町」と呼ばれ、高田藩の外港である今町の港には北前船が寄港しました。北前船が寄港したことによってさまざまな生業が生まれ、直江津のまちは大いににぎわいました。

詳しくは



海上安全の信仰対象となった米山

米山は、北前船船主の航海の目印とされ、海上安全の信仰対象とされてきた山です。上越市と柏崎市の境に位置し、日本三薬師の一つとして知られ、優雅な山容から「越後富士」と呼ばれます。山頂には米山薬師堂があり、田畑の豊作や雨乞い、人間・動物の守護、海上の安全に霊験あらたかと伝えられ、全国からも広く信仰を集めています。



▲海上から望む米山

米山薬師信仰と密蔵院

柿崎区米山寺に位置する真言宗密蔵院は、近世において米山薬師の別当(神社などを管理するために置かれた寺)を務めた寺院です。柏崎市に伝わる国指定重要無形民俗文化財「綾子舞」の中でも、波風を鎮めるため、近隣諸国の霊仏霊神とともに米山薬師が唱えられるほど、海上安全の信仰は篤いものでした。

北前船は多くの富をもたらし、船乗りたちにとっては夢のある航海でしたが、「板子一枚下は地獄」といわれるほど危険な航海でした。現代ほど航海技術が高くなかったため、船乗りたちは航海の安全を神に祈り、海に出ていました。



▲米山薬師別当密蔵院(護摩堂)



◀直江津海岸と米山

北前船船主たちが船路の目印とし、航海の無事を祈った米山が、遠くにはっきりとみえます。

広報対話課から

(☎025-526-5111)

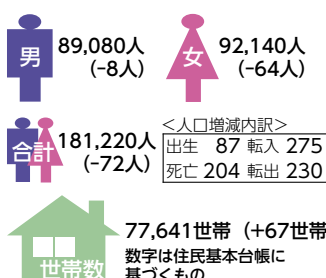
「広報上越9月号」は、8月22日(土)・23日(日)に各町内会へお届けし、各世帯にお配りします。届かない世帯の人は、広報対話課または、各総合事務所へご連絡ください。

上越市ホームページアドレス <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>

1270 (古紙パルプ配合率70%再生紙を使用)

上越市の人口・世帯数

令和6.7.1現在。()は前月との比較



表紙のこぼれ：企画展「徳川四天王 榊原康政の系譜」

表紙の絵は楊洲周延筆大絵馬「小牧山の陣」(榊神社所蔵)です。康政が天正12年(1584)の「小牧・長久手の戦い」で、豊臣秀吉を罵倒する檄文を秀吉の本陣を見据えながら作成している様子を描いたものです。

企画展では、このほか、恋文を妻に送った康勝や羽目を外して怒られた政岑といった「人柄」がわかるようなエピソードが紹介されているのが印象的でした。企画展にお越しの際には、ぜひ榊原家の人々の「人柄」にもご注目ください。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。